

第6回ネクスト・ギガ・リプレイス意見聴取会 概要

1. 日時

令和6年3月22日(金) 15:30~17:00

2. 場所

輝きプラザきらら 3階 教育委員会室

3. 出席委員

- ・野中 健次 委員(株式会社わけわけ 代表取締役社長)
- ・野村 明央 委員(元枚方市立小学校 管理職)
- ・山田 大樹 委員(枚方市立開成小学校 教諭)
- ・佐納 達平 委員(枚方市立中宮中学校 教諭)

(オンライン)

- ・磯崎 大二郎 委員(認定特定非営利活動法人カタリバ)
- ・上田 泰丈 委員(枚方市立東香里小学校 教頭)

4. 議論の視点

これまでの議論をまとめた教育DXのあり方を確認する

5. 概要

(1) 会の説明について

- ・ミッションとしては2030年のDX化された学校教育を明確化しようと進めてきている。
- ・現在、PBLのDX化された姿について進めている。
- ・DXについて考える会議体なので、タブレット端末がどのように機能したら有効なのか、「共同編集機能」「一覧表示機能」「操作性(使いやすさ)」「その他の機能」の4つの観点について意見を出し合う。
- ・動画を鑑賞し、感想を共有した上でもう1度、1番の「授業改善・家庭学習」について話し合う。

(2) 完成した動画から

- ・一個一個は、5年か10年先くらいをずっと見ているなって思い、できたらいいなって思った。
- ・動画を見ていて内容が固いと思う。
- ・まず言葉が難しく、地域とか保護者見ても、ずっと入らないと思います。
- ・枚方の子供たちの映像が変わって、すごくわかりやすくなって良かった。
- ・ムービーなので文脈、ストーリーが欲しいなという風に感じた。
- ・もっとわくわくできるような動画の内容とかになると良いなと見ていて思いました。
- ・今までに前例のないことをやっているのだから、ここまで半年間でいけたということ、すごいと思う。

(3) 授業改善・家庭学習についてグループワークした意見から

- ・先生が共有設定をするか、先生が学びをお膳立てしないと、子どもたちが自分で学びを進めたいと思ったときに自分たちでできない状況になっている。
- ・子ども達に任せて子ども達が学びを進めて共同編集できるように持っていけたらいい。
- ・PBLを進めていくという話の中で、問いをどう設定するのが一番大事。

- ・学校内外問わず、プロジェクトが回していけるようなサービス、仕組みが必要。
- ・自分達がプロジェクトに取り組んでいるということを発信できるようなサービスがあればよい。
- ・段階に応じた、最適化された検索エンジンが使えると良い。
- ・子ども達がプレゼンテーションやビデオ撮影しながらアクション出来ますという文章の部分で出てきたのが、プレゼンテーションやビデオのデータはクラウド保存が前提のようなアプリ、もしくは端末の容量がたくさん必要です

(4) 振り返りから

- ・そもそも子ども達の PBL を進めていこうって言いながら、実は大人の世界はすべてプロジェクト活動になっている。
- ・プロジェクト活動を通じて好きとか得意を見つけていく、なおかつそれが社会課題にアプローチするという所で必要とされる、この必要とされる面積が大きければ大きいほど、それがビジネスになる。そこを念頭に置いたうえで PBL を進めていくことは、本当に社会に必要な力に直結する、子ども達の未来に直結するような活動、授業になりますので、そこを進めていくというのは本当に意義があると感じます。